

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 50文化振興費

◎国際交流の経費

国際交流推進事業

文化推進課

【総合計画上の位置づけ】

人権を尊重し、人との出会いを大切にするまち
多文化共生社会:行政レベル、市民レベルともに世界に開かれたまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の国際交流・国際協力活動への支援を行うとともに、多文化共生社会への理解を図り、国籍や文化の違いを認め合い、外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりを進めるため。

効果 行政レベル、市民レベルともに、国際理解や多文化共生社会への理解を進展させ、地域の国際化を進めることにより、世界に開かれたまちづくりを図る。

【事業の内容】

(1) 国際交流推進事業

- ・ 奨励金・親善友好バッジなどの交付や情報提供により、市民レベルで行われる国際交流・協力事業を支援した。
- ・ 将来の国際交流・協力活動の拠点づくりを目指し、国際交流フェスティバルを開催した。市と市民団体が連携し、市と団体及び団体間でのネットワーク化や情報の共有化を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

国際親善交流の推進(1-3-4-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
721	721	386		335

主な支出内訳

・ 国際交流推進事業

民間団体国際交流事業奨励金等報償費	50
市民通訳ボランティア活動謝礼	0
市民通訳ボランティア等保険料	52
国際交流フェスティバル会場内仮設電気設備設置委託料	209
国際親善友好バッジ作製委託料	0

事務事業評価シート

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・「国際交流・協力団体連絡会」の目的のひとつである「活動拠点の整備」については、各団体の考え方に大きな隔たりがあり、連絡会としての取り組みは未解決になっている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・団体間の情報提供を目的とした「情報かわら版」の発行や「国際交流フェスティバル」の開催など継続的な交流事業の実施により、市と団体、また、団体相互の関係は維持されている。 「活動拠点の整備」については、「国際交流・協力団体連絡会」の参加団体の有志により、継続的に検討され、引続き活動を支援した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・「活動拠点の整備」については、「国際交流・協力団体連絡会」の参加団体の有志により、検討されており、方向性など整理されてきたが、各団体の活動目的や組織規模の違いなどから考え方には依然として隔たりがある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・「情報かわら版」の発行や「国際交流フェスティバル」の開催は、交流事業として一定の効果があるため引き続き実施する。また、「活動拠点の整備」については、「国際交流・協力団体連絡会」の参加団体の有志により、方向性などは整理されてきた。今後も、各団体の状況などを踏まえ「活動拠点の整備」に向けて取り組んで行く。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	「活動拠点の整備」に向けて、国際交流・協力活動を行う市民団体等との連携を図り検討を継続し、効率的な組織づくりに取り組んで行く。				
担当課長氏名:		宮崎 淳			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	「活動拠点の整備」については、国際交流・協力活動を行う市民団体等との連携を図り、各団体の規模や活動目的などの状況を踏まえ取り組んで行く。今後も市民団体間の情報の共有化や連携の強化により、さらに充実した活動が行われるように、市民レベルにおける国際交流活動を支援・育成することが重要と考える。				
担当部名	生涯学習推進担当	部長名	金川剛文		